

### 6-13 資本主義的生産様式の科学的な分析が証明した生産様式と生産関係の歴史的な規定性

「ところが、資本主義的生産様式の科学的な分析は逆に次のようなことを証明している。資本主義的生産様式は特別な種類の、独自の歴史的規定性をもつ生産様式だということ。それは、他のすべての特定の生産様式と同様に、社会的生産力とその発展形態との一定の段階を自分の歴史的条件として前提しており、この条件はそれ自体が先行過程の歴史的な結果であり産物であるが、それをまた自分の与えられた基礎として新たな生産様式がそこから出発するという。この独自の歴史的に規定された生産様式に対応する生産関係——人間が彼らの社会的な生活過程において、彼らの社会的な生活の生産において、取り結ぶ関係——は、一つの独自の、歴史的な、一時的な性格をもっているということ。そして最後に、分配関係は本質的にこの生産関係と同じであり、その反面であり、したがって両方とも同じ歴史的な一時的な性格をもっているということ。」（大月版『資本論』⑤ P1122B8-1)